

### Ⅲ 中級コース（施工管理）

対象 大学卒業後及び高校卒業後3年以上又はこれと同等程度の技術者で、設計、監督業務に従事している者

内容 施工管理の要件、施工管理の機能、施工計画の立案、工程計画、統計学基礎と品質管理への応用等の理論、及び演習を行ない、土木施工管理の実務に必要な基礎的知識を習得させ、かんがい排水事業に携わる技術職員の資質の向上を図り、業務の実効を上げる。

### Ⅳ 専門コース（各種試験）

対象 大学卒業後及び、高校卒業後3年以上又はこれと同等の技術者で、現場監督業務に従事している者

内容 土質、地質、コンクリート、アスファルト等土木材料の試験に関する知識及び具体的テストの技術を習得させる演習を実施し、資質の向上を図り、土木施工についての品質の適正を期する。

### Ⅴ 専門コース（施設機械）

対象 Ⅳに同じ

内容 ポンプ、電動機、エンジン、ゲート等施設機械の設計、施工、積算に関する基礎的知識を習得させ、業務の円滑なる推進に資する技術職員を養成する。

### Ⅵ 初級コース

対象 高等学校卒業又は、同等程度以上のもので、かんがい排水技術者を志す者

内容 かんがい排水技術に関する、水理学、数学、気象、土木地質、土木材料、構造力学、土壌学等の基礎的知識及び、水路工、頭首工、施設機械等応用的知識の修得並びに演習等により資質の向上を図り技術者を養成する。

## 4-6 機材供与

CGSC技術協力において、試験、研修、訓練等技術に関する諸設備、及び技術図書等については、日本政府から供与することが、目的達成のため重要な要件である。

日本政府から供与を必要とすると認められる機械は、表4-1のとおりである。

## 4-7 研修員受入

CGSC技術協力の目的を早期に達成するため、インドネシア国技術者に対して、日本のかんがい排水技術の理解を深めるとともに、技術力向上の必要性の認識を高め、CGSC活動に必要な知識、技能を修得させることを目的として、日本におい

表4-1 (その1) 研修，情報処理機材一覽表

機材名	TOTAL 千円	初年度	2年	3年	4年	5年	6年
1 コンピュータ設備	1,800		600	600	600		
2 マイクロ写真設備	2,200		1,000	600	600		
3 土質試験設備	2,150		1,000	5,000	5,000	1,500	
4 コンクリート試験設備	1,400		2,000	3,000	3,000	3,000	3,000
5 アスファルト試験設備	4,400		1,400	1,000	1,000	1,000	
6 機械工学試験設備	6,000		3,000	3,000			
7 機械修理設備	2,400	2,400					
8 運転訓練用建設機械	2,270	2,270					
9 水理工学研修設備	3,080					1,080	2,000
10 測量研修設備	4,620		4,620				
11 気象観測研修設備	2,530			2,530			
12 機械据付費	1,000		1,000				
13 図書等購入費	4,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
14 その他試験機械	3,360		3,360				
15 事務用機器	1,235	1,000	1,350				
16 車輛	2,100	5,000	1,600				
計	19,066	39,100	62,330	23,730	18,200	24,300	23,000

表4-1 (その2) 無償・技協供与機械表

機材名	規格	無償		技協		備考
		数量	金額	数量	金額	
1 コンピューター設備		1式	104,500			*金額はS54単価で輸送費を含む
磁気テープ				100	300	
プログラムボード				1	100	
磁気テープボックス				5	100	
エッジカードラック				1	100	
カードボックス				5	100	
アンコアルハンガー				2	200	
シュレッダー				1	600	
その他					300	
計			104,500		1,800	上記計の20%
2 マイクロ写真設備		1式	17,160			
カメラ				2	100	
” レンズ				4	200	
スクリーン	固定式			1	30	
”	移動式			1	30	
マイクロフィルム保管耐R庫				2	1,000	
ロールフィルムキャビネット				1	50	
フィッシュフィルムキャビネット				1	400	
ポラロイドカメラ				1	50	
その他					340	上記の20%
計			17,160		2,200	
3 土質試験設備		1式	16,830			
標準貫入試験機				1	150	
室内CBR ”				1	1,700	
定水位透水 ”				1	250	
変水位 ” ”				1	1,200	
コーンペネトロメーター				2	200	
スウェーデン式サウディング試験機				1	200	
液性限界測定器				5	350	
収縮限界 ”				5	50	
粒度試験機				1	3,200	
遠心分離機				1	100	
ハンドオーガー				1	100	
現場密度測定機				2	120	
純水製造装置				1	2,400	
シンオール切断機				1	450	

無償・技協供与機械表

機材名	規格	無償		技協		備考
		数量	金額	数量	金額	
ソイルミキサ				1	200	*金額はS54単価で輸送費を含む。
水分含有量測定機				1	60	
間ゲキ水圧測定機				1	100	
光電光度計				1	120	
粒度分散装置				1	70	
試料採取機	油圧			1	60	
土圧計試験機				1	300	
熱風式循環乾燥機				1	240	
圧密試験用自記装置				1	2,600	
一面セン断	〃			1	870	
三軸	〃			1	2,140	
セン断	〃			1	690	
その他					3,580	上記計の20%
計			16,830		21,500	
4 コンクリート試験設備		1式	26,620			
鉄筋探知機				1	700	
棒状バイブレーター				1	150	
スランプ測定機				2	100	
シュミットハンマー				2	400	
キャッピングセット				1	400	
落球式衝撃試験機				1	600	
摩耗試験機				1	1,800	
弾性係数測定機				1	500	
コンクリート管圧縮試験機				1	2,500	
超音波伝播反射測定機				1	2,000	フィルダ材料現場試験用
定置式岩石採取機				1	500	
精密岩石切断機				1	1,500	
超小型強性速度測定機				1	500	
その他					2,350	上記計の20%
計			26,620		14,000	
5 アスファルト試験設備		1式	12,430			
ソックスレー抽出装置				1	140	
針入度試験機				1	40	
アスファルト密度計				1	1,200	
ベンゲルマンビーム				1	100	
定置走行型凸凹測定機				1	500	
アスファルト切断機				1	500	

表4-1 (その3) 無償・技協供与機械表

機材名	規格	無 償		技 協		備 考
		数量	金 額	数量	金 額	
アスファルトモールド				10	100	
曲げ試験機				1	200	
伸度 "				1	150	
たわみ "				1	300	
ひずみ "				1	300	
セイボルトフロー粘度計				1	150	
その他					720	上記計の20%
計			12,430		4,400	
6 機械工学研修設備		1 式	4,400			
転倒ゲート模型				1	1,500	
テントゲート模型				1	1,500	
スルースバルブ "				1	1,000	
バタフライバルブ "				1	1,000	
その他					1,000	上記計の20%
計			4,400		6,000	
7 機械修理研修設備		1 式	6,930			
油圧ジャッキ				2	400	
各種点検器具				1 式	1,600	
その他					400	
計			6,930		2,400	
8 運転訓練用建設機械		1 式	154,880			
バイプロハンマ	3.7kw			1	1,200	
空気圧縮機	3.5m <sup>3</sup>			1	1,600	
発動発電機	5 KVK			1	600	
レップハンマ	30 kg			1	200	
ピック "	8 kg			1	30	
水中ポンプ	50m/mH=10m			1	80	
" サンドポンプ	" H=5~12m			1	200	
ベルトコンベア	4~5 m			2	500	
トラクタ	ホイール75PS			1	4,500	
スクレーパー	12m <sup>2</sup>			1	10,000	
その他					3,790	上記の20%
計			154,880		22,700	

表4-1 (その4) 無償・技協供与機械表

機材名	規格	無償		技協		備考
		数量	金額	数量	金額	
9 水理工学研修設備				1式	30,800	*金額はS54単価で輸送費を含む
計					30,800	
10 測量研修設備				1式	4,620	
計					4,620	
11 気象観測研修設備				1式	2,530	
計					2,530	
12 機械据付費		1式	2,200	1式	1,000	
計			2,200		1,000	
13 図書等買入費						
一般技術図書	研修用			5,000冊	10,000	
専門 "				1,000冊	5,000	
外国 "				1,000冊	10,000	
日本 "	1 国訳費用			50	10,000	
視聴覚教材				1式	5,000	
計					40,000	
14 その他試験機械						
上皿天ピン				1	600	
ネコスケール				1	400	
温度計				20	100	
試料箱				20	100	
タイムスイッチ				3	60	
鉱物顕微鏡				2	300	
実体 "				2	800	
濁度計				1	700	
PHメーター				1	150	
赤外線水分計				1	150	
計					3,360	

表4-1 (その5) 無償・技協供与機械表

機材名	規格	無償		技協		備考
		数量	金額	数量	金額	
15事務用器具						*金額はS54単価で輸送費を含む
ゼロックス	大型			2	6,000	庶務・技術情報課
〃	小型			3	1,500	上記以外の課
印刷機				1	500	
リコピー				5	750	各課1台
タイプライター	電動			11	3,300	各課1, 専門家1
〃	手動			10	300	各課1, 研修所4
計					12,350	
16車両						
トラック	4 t			1	2,500	
マイクロバス	26人乗			1	2,500	
セダン	2600 CC			1	2,500	
ランドクルーザー				4	10,000	
その他	スペアパーツ				3,500	上記20%
計					21,000	

て受入研修を実施する。

受入研修の対象としては、日本人専門家のカウンターパートとして、CGSC活動に直接たづさわる者とし、年次別には、表4-2のとおり実施することが必要と考えられる。

表4-2 研修員受入数

項目	初年度	2年	3年	4年	5年	計
人数	5人	5人	5人	3人	3人	21人
受入研修 (延月数)	(5ヶ月)	(5ヶ月)	(5ヶ月)	(3ヶ月)	(3ヶ月)	(21ヶ月)

#### 4-8 インドネシア側の負担

CGSCを運営するために必要な、職員の住宅、一般的な備品等、電力料、燃料代等運営費、一般業務に必要な費用、研修生の旅費等インドネシア側で負担を要する経費が表4-3のとおり見込まれる。

なお、これらの諸費用については、運営実施の方法如何によって、増減があるものと考えられる。

表4-3 ローカルコスト一覧表

費目	TOTAL	初年度	2年	3年	4年	5年	6年
1.施設費(宿舍建設 45戸)	234,000 千RP	20戸 104,000	5戸 26,000	5戸 26,000	5戸 26,000	5戸 26,000	5戸 26,000
2.備品費(2年間で完備以降補充)机、イス等一般備品	110,000	50,000	50,000	2,500	2,500	2,500	2,500
3.事務所運営費(電話代、電気代、燃料費、補助労務費)	85,000	—	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
4.業務費(研修関係を含まない)	165,000	—	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000
5.研修関係費(旅費+食費+その他)	125,000	—	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
計	719,000	154,000	151,000	103,500	103,500	103,500	103,500

以上、技術協力の構想を述べた。

これには、調査結果をふまえた、調査団の判断が盛り込まれている。

現地において、インドネシア側と打合せた内容は、別添、SUMMARY OF DI-



DISCUSSIONS にとりまとめている。これについては、両者合意したものと、先方の意見を聞き、こちらの考え方を述べたもの、こちらから提案し、検討を要請したもの等がある。

この報告書は、先方の意見、要望を尊重しながら、検討し作成したものである。日本人専門家の派遣、研修員の受け入れ等、必要最少限はどうか、という判断により、変動を加えたものもある。

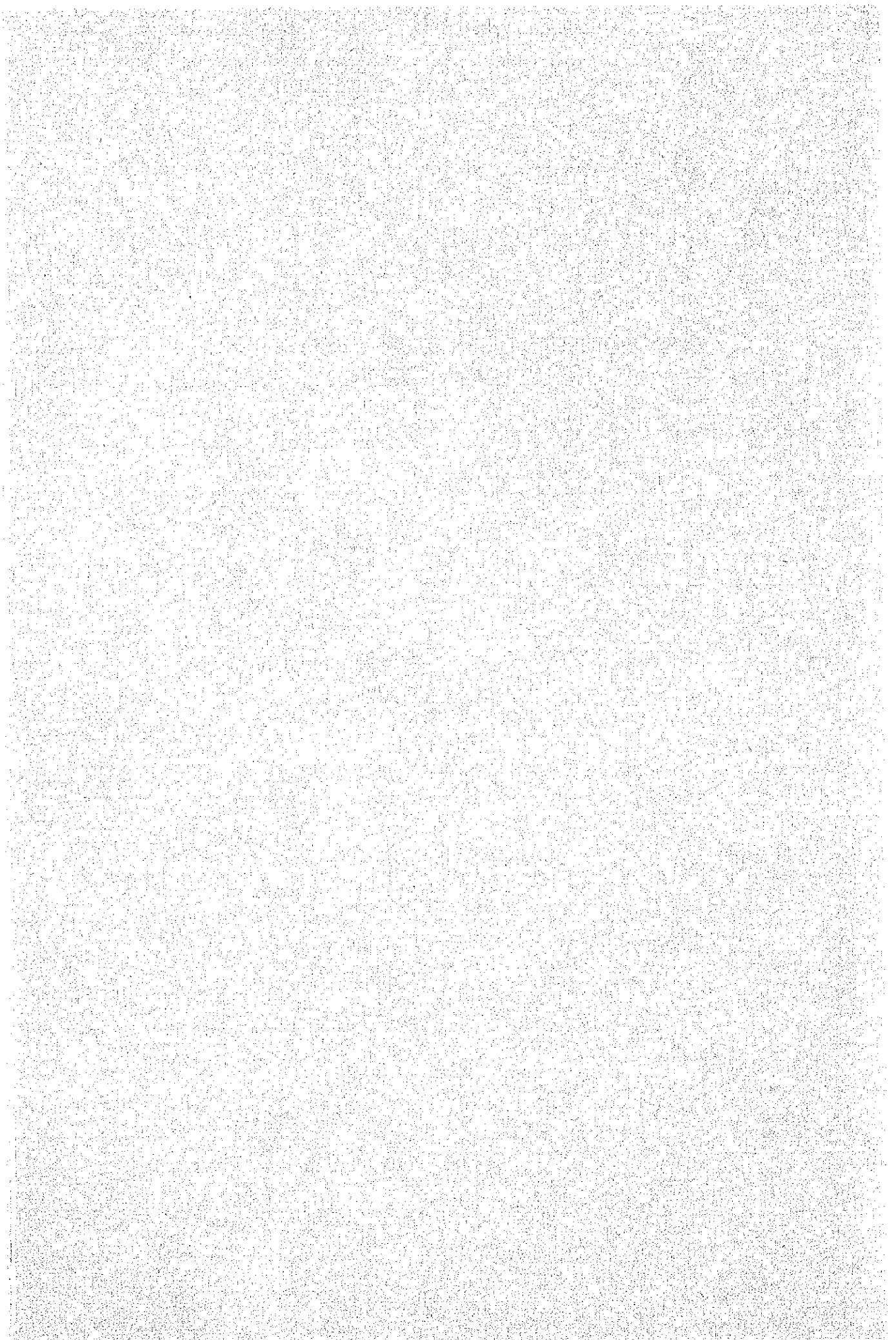
なお、目的を達成するための協議機関として、インドネシア政府機関と、CGSC関係者との委員会の設置を提案した。R/Dまでに、インドネシア側で検討される。

この報告書が、インドネシア国かんがい排水施工技術センター協力計画に関する日本国の技術協力計画推進に役立ち、国際協力の一助となることを念願するものである。



## 添付資料

1. Summary of Discussion on the construction  
Guidance Service Center Project
2. Members List
3. 収集資料リスト



SUMMARY OF DISCUSSIONS  
ON THE CONSTRUCTION GUIDANCE SERVICE CENTER PROJECT

BETWEEN

THE JAPANESE SUPPLEMENTAL BASIC DESIGN SURVEY TEAM

AND

DIRECTORATE OF IRRIGATION, DIRECTORATE GENERAL OF WATER  
RESOURCES DEVELOPMENT, MINISTRY OF PUBLIC WORKS.

The Government of Japan dispatched a supplemental basic design survey team, headed by Kunio IKI, Director, Office of Operation Planning and Coordination for Agricultural Land Improvement, Kyushu Regional Agricultural Office, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, through Japan International Cooperation Agency in order to review the cost escalation for constructing the Construction Guidance Service Center.

The said team has conducted survey with the kind cooperation from the Indonesian Authorities concerned and had series of discussions with them during the stay of the team in the Republic of Indonesia from 6 November to 20 November, 1979.


Major contents of the series of discussions are as follows :

1. The Indonesian Authorities concerned requested to realize the Construction guidance Service Center as soon as possible
2. The Indonesian Authorities concerned requested to realize the result of the basic design survey fully (especially for building).

Done in Jakarta on 19 November, 1979.



Kunio IKI  
Leader  
The Japanese Preliminary survey team.



Ir. Sarwoko,  
For the Director of Irrigation,  
Directorate General of Water  
Resources Development.

SUMMARY OF DISCUSSIONS  
ON THE CONSTRUCTION GUIDANCE SERVICE CENTER PROJECT

BETWEEN

THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM OF TECHNICAL COOPERATION  
AND  
DIRECTORATE OF IRRIGATION, DIRECTORATE GENERAL OF WATER  
RESOURCES DEVELOPMENT, MINISTRY OF PUBLIC WORKS.

The Government of Japan dispatched a preliminary survey team, headed by Mr. Kunio IKI, Director Office of Operation Planning and coordination for Agricultural Land Improvement, Kyushu Regional Agricultural Administration Office, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, through Japan International Cooperation Agency, upon the request of the Republic of Indonesia for technical cooperation concerning the "Construction Guidance Service Center in Irrigation/Drainage Engineering".

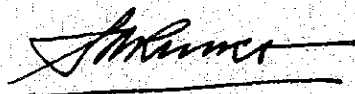
The said team has conducted survey with the kind cooperation from the Indonesian Authorities concerned and had series of discussions with them, during the stay of the team in the Republic of Indonesia from 6 November to 20 November, 1979.

The Implementing Arrangements (Draft) for the Construction Guidance Service Center Project and the contents and results of discussions about the Draft held between both sides are indicated in the attached paper.

Done in Jakarta on, 19 November, 1979.



Kunio IKI  
Leader  
The Japanese preliminary survey team.



Ir. Sarwoko  
For the Director of Irrigation,  
Directorate General  
of Water Resources Development.

Major items of the series of discussions are as follows:

1. Background of the request on a technical cooperation for the C.G.S.C. Project.
2. Organization and Administration of the C.G.S.C. Project.
3. Dispatch of Japanese experts.
4. Provision of machinery and equipment.
5. Training of Indonesian personnel in Japan.
6. Term of cooperation.
7. Measures to be taken by the Government of the Republic of Indonesia.

NOTE: "C.G.S.C." stands for Construction Guidance Service Center.

## IMPLEMENTING ARRANGEMENTS (Draft)

## I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the Republic of Indonesia will cooperate with each other in implementing the Construction Guidance Service Center in Irrigation/Drainage Project (hereinafter referred to as "the Project") for the purpose:
  - (1) Technical monitoring including technical assistance, advice and guidance on construction management and quality control for Irrigation/Drainage project;
  - (2) Aiming at training of engineers and enhancement of Technical standard in irrigation/drainage engineering.
2. The project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

## II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense services of the Japanese experts as listed in Annex II through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Japanese experts referred to in paragraph 1 above and their families will be granted in the Republic of Indonesia the privileges, exemptions and benefits no less favourable than those accorded to experts of third countries working in the Republic of Indonesia under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.



### III. PROVISION OF MACHINERY, EQUIPMENT AND MATERIALS

1. In accordance with the laws and regulations in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense such machinery, equipment and other materials necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III, through the normal procedure under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The articles referred to in paragraph 1 above will become the property of the Government of the Republic of Indonesia upon being delivered c.i.f. to the Indonesian authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation, and will be utilized exclusively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Annex II.

### IV. TRAINING OF INDONESIAN PERSONNEL IN JAPAN

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the Indonesian Personnel connected with the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Indonesian Personnel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

The Indonesian side requested that the Government of Japan would receive the Indonesian personnel as Trainees in Japan as listed below.

3

Schedule of Training in Japan

Item of training	Man-month	1980/81	1981/82	1982/83	1983/84	1984/85	1985/86	1986/87
1. Visit and observation on the C.G.S.C.	1*	E/N R/D						
2. Management and operation	4**							
3. Soil mechanic test	3		+					
4. Concrete test	3		+					
5. Asphalt test	3		+					
6. Micro-photo Engineering	3		+					
7. Construction Engineering Construction Management	3							
8. Quality Control and Construction material	3							
9. Computer Processing	4		+					
10. Machine Engineering (pump and gate)	3							
11. Machine Engineering (heavy equipment)	3							
T o t a l	33							
Job site training								

\* Senior Engineer

\*\* Representative of C.G.S.C. Indonesia

The Japanese side explained that training programme would be decided annually.

V. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE  
REPUBLIC OF INDONESIA.

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to provide at its own expense:
  - (1) Service of the Indonesian counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV;
  - (2) Land; (buildings and facilities to be provided through Grand Aid);
  - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instrument, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided through JICA under III-1 above;
  - (4) Transportation facilities and travel allowance for the Japanese experts for the official travel within the Republic of Indonesia.
2. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to meet:
  - (1) Expenses necessary for handling and local transportation of the articles referred to in III-1 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
  - 2) All running expenses necessary for the implementation of the Project.

## VI. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Government of the Republic of Indonesia through Directorate of Irrigation, Directorate General of Water Resources Development, Ministry of Public Works will have the authority and responsibility for the efficient and effective management and administration of the Project, and the Japanese experts will provide necessary technical guidance and advice for the implementation of the Project.
2. The Japanese side explained the necessity of establishing the Joint-Committee for the administration of the C.G.S.C.  
The Indonesian side expressed that the matter of Joint-Committee would be studied among the Indonesian Government.

## VII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

This matter will be discussed in the future.

## VIII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the Governments on any major issues arising from, or in connection with this attached Document.

## IX. TERM OF COOPERATION

The Indonesian side expressed that the Indonesian Government wished the duration of cooperation to be about four years.

I.1.

ANNEX I

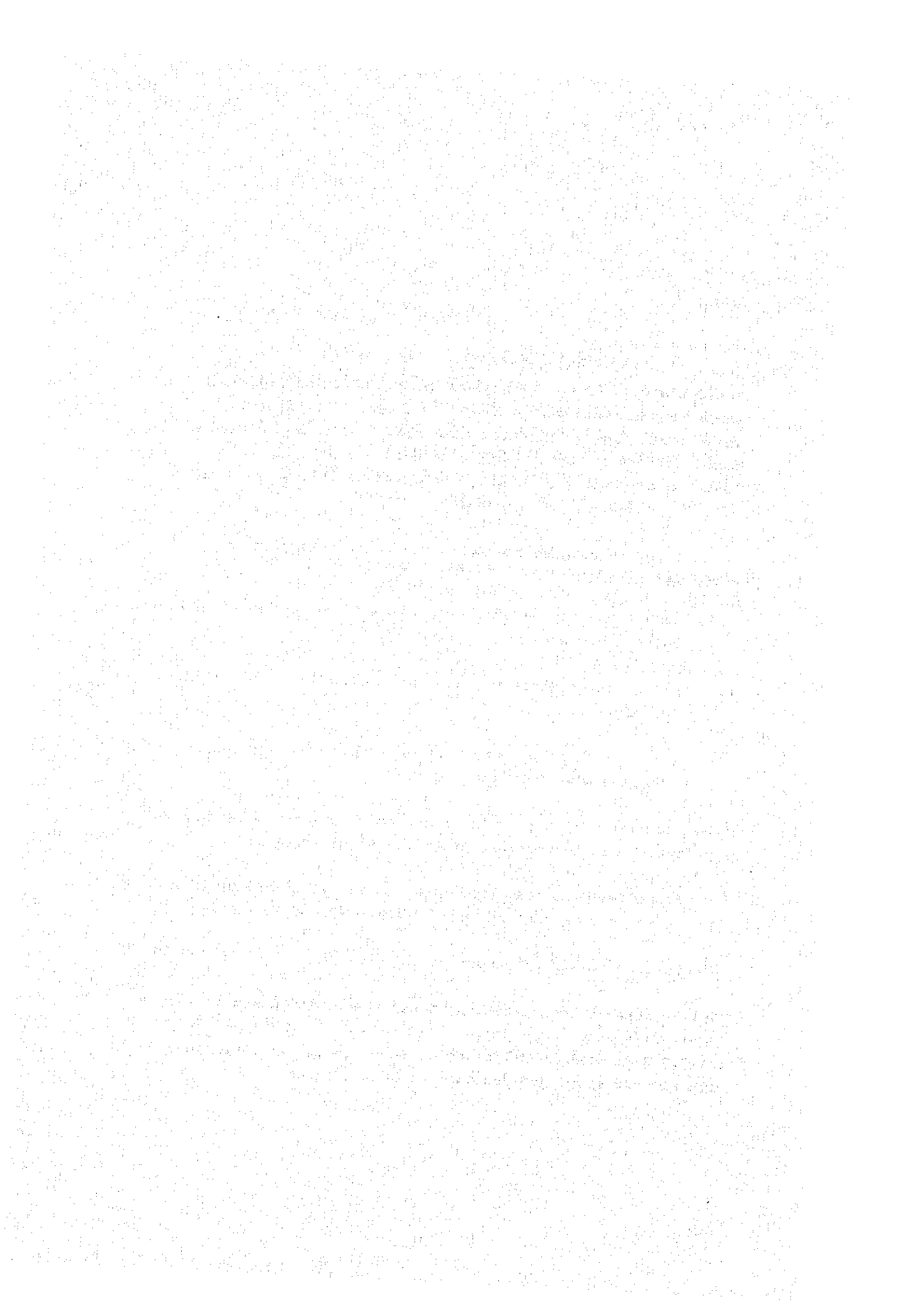
MASTER PLAN

The C.G.S.C. will be established as an execution organization under the jurisdiction of the Directorate of Irrigation, Directorate General of Water Resources Development aiming at technical matter and promoting technical expertise in the field of irrigation / drainage undertaking through technical advice, guidance and training.

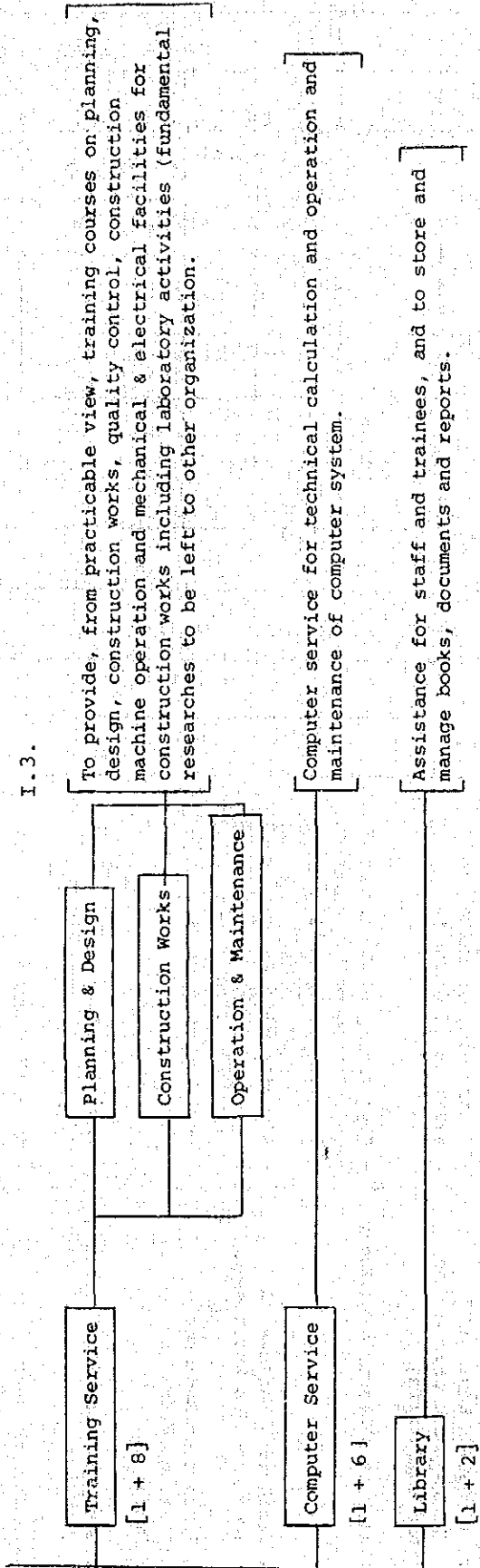
To fulfill the purpose the following activities will be performed at the C.G.S.C. :

- (1) Overall monitoring of irrigation/drainage engineering at the construction stage;
- (2) Collection, processing and distribution of technical data and information;
- (3) Standardization of construction method, quality of materials and cost estimation;
- (4) Automation of data control and cost estimation by computer system and development of programs therefor;
- (5) Upgrading Technical expertise of irrigation engineers and inspectors through periodical training and lectures;
- (6) Testing construction materials.
- (7) Training of construction machine operation and maintenance.

The C.G.S.C. will be organized as shown in the following chart with allotted staff and function to each section.



I. 3.



\* Figures in [ ] show allotted staff.

Annex II.

LIST OF JAPANESE EXPERTS.

The Indonesian side requested Japanese experts to be dispatched as listed below.

Assignment schedule of Dispatched Experts ( 238 manmonths )

Qualification of Expert	Assignment	1980/81	1981/82	1982/83	1983/84	1984/85	1985/86
1. Team leader (Irrigation Engineer, Espc. construction management)	- Supervising of Construction - Supervising of Installation - Advising of Operation	E/N R/D					
2. Irrigation Engineer A (Soil, Concrete & Asphalt Test)	- Supervising of Construction - Supervising of Installation - Advising of Operation						
3. Irrigation Engineer B (Micro-photo Engineering and computering)	- Supervising of Installation - Advising of Operation						
4. Machine & Electric Engineer	- Supervising of Construction - Supervising of Installation - Advising of Operation						
5. Irrigation Engineer C (Construction Engineering)	- Advising of Operation						
6. Irrigation Engineer D (Design, Hydraulic and Dynamics)	- Advising of Operation						
7. Geologist and Soil Mechanic Engineer	- Advising of Operation						
8. Liaison Officer	- General affairs						

The Japanese side expressed that it was difficult to realize the request above fully although some short-term experts might be dispatch when necessity arised.



ANNEX III

List of machinery, equipment and materials to be provided  
by the Government of Japan :

- (1) Equipment, machinery, instruments and tools for laboratory work, training and information service and their spare parts.
- (2) Construction machines for training and their spare parts.
- (3) Machines and tools for repair works.
- (4) Teaching materials, books and documents including audio-visual aids.
- (5) Vehicles.
- (6) Other necessary equipment and materials.

ANNEX IV

List of Indonesian experts and other personnel

<u>Category</u>	<u>Field</u>
(1) Project Director Assistant Director	
(2) Experts	Counterparts to the Japanese experts.
(3) Technical Assistants and Aids.	
(4) Clerical and Service Employees.	
(5) Operators and labourers.	

**JAPANESE JOINT TEAM OF PRELIMINARY COOPERATION PROGRAM SURVEY  
AND SUPPLEMENTAL BASIC DESIGN SURVEY  
FOR  
CONSTRUCTION GUIDANCE SERVICE CENTER  
IN IRRIGATION/DRAINAGE ENGINEERING  
IN  
THE REPUBLIC OF INDONESIA**

Assignment	Name	Present Position
Leader	Kunio IKI	Director Office of Operation Planning and Coordination for Agricultural Land Improvement Kyushu Regional Agricultural Administration Office, Ministry of Agriculture, Forestry & Fisheries
Acting Leader	Kazuo HARADA	Director of System Development Division Office of Operation Planning and Coordination for Agricultural Land Improvement Kinki Regional Agricultural Administration Office, Ministry of Agriculture, Forestry & Fisheries
Design and Cost Estimation	Shoci ARAKI	Senior Engineer Design Division Agricultural Structure Improvement Bureau Ministry of Agriculture, Forestry & Fisheries
System Develop- ment and Cooperation Planning	Noriyoshi KONZOH	Senior Engineer Design Division Agricultural Structure Improvement Bureau Ministry of Agriculture, Forestry & Fisheries
Architectural Planning	Shinya OSUMI	Project Architectural Development Nipponkoei Co., Ltd.
Coordination	Yukiharu HARADA	Official, Technical Affairs Division Agriculture & Forestry Planning & Survey Depart- ment Japan International Cooperation Agency

**JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)**

P.O. Box 216, Mitsui Bldg., Shinjuku-ku, Tokyo, Japan



現地収集資料リスト

番号	タイトル	出 所	言 語
1	イ国、第3次5ヶ年計画	インドネシア国政府	インドネシア語
2	イ国、第3次5ヶ年計画の全般的構想	東南アジア第2課	日 本 語
3	イ国、第2次5ヶ年計画要約	O. E. C. F	”
4	イ国、第3次5ヶ年計画内訳(予算)	かんがい局	英 語
5	大蔵省バペナス資料(物価指数)	大蔵省バペナス	インドネシア語
6	統 計 局(物価指数)	統 計 局	”
7	CGSC建設準備の概要	かんがい局	”
8	かんがい局建設第2部概要	”	”
9	水資源総局事業所職員リスト	”	英 語
10	水資源総局公務員一覧表	”	インドネシア語
11	ランボン地方公共事業部実施体制 (技術者数を含む)	ランボン地方公共事業部	”
12	ジャテルフル、農民組織研修教材	ジャテルフル	”
13	統計局使用電算機(IBM)		”
14	かんがい事業位置図及び概要(サンプル)	かんがい局	英 語
15	インドネシア経済指標	大 使 館	日 本 語
16	第3次5ヶ年計画の概要	”	”

JICA